

前橋東高校 演劇部 活動紹介 第5号 (2023(令和5)年11月6日現在)

TOPICS 総文祭県大会優秀賞、初の関東大会出場！



去る11月3日(金)、人材派遣ワイスコーポレーション境文化総合センターにおいて群馬県高等学校総合文化祭演劇専門部県大会が実施されました。本校演劇部は、中毛地区大会と同様に福田成樹作『インザハウス』を上演して**優秀賞**を受賞、昭和56(1981)年の本校創設および演劇部設立以来初の**関東大会出場**を下記の通り決定しました。

関東高等学校演劇研究大会(那須塩原会場)

日 時：令和6(2024)年1月27日(土)もしくは28日(日)

会 場：大正堂くろいそみるひいホール 栃木県那須塩原市上厚崎490

(JR那須塩原駅、JR黒磯駅下車、駅よりバス便あり(乗車時間約8分))

上演作品：福田成樹・作『インザハウス』(上演時間約60分)

……詳細は決定次第発表いたします。皆様ふるってお越し下さい。

* * * * * 福田成樹・作『インザハウス』 * * * * *

大学4年生のエリは、母校の高校で教育実習するため、久しぶりに実家へ帰ってきた。妹で高校2先生のナツミは、姉の帰省を戸惑いつつ迎え入れる。そこへ、見知らぬ関西言葉の女性・アヤが現れ、ナツミの家族のように振る舞う。さらに母のヨウコも帰宅し、アヤと親密そうに振る舞う。予想外のなりゆきに苛立つエリ、そんなエリを反発しつつも慕うナツミ、謎めいた微笑を浮かべて我が物顔に振る舞うアヤ、この3人の間で複雑に心が揺れるヨウコ。それぞれ複雑な事情を抱えているらしい4人の女性による、奇妙な「家族」の物語が始まった…。

兵庫県立御影高等学校の福田成樹(ふくだせいき)先生が2018年に発表した高校演劇脚本の名作で、初演以来多くの団体により上演されています。季刊『高校演劇』249号収録。下の写真は全て県大会での上演です。



1 部活動の概要 (令和5年度)

部員数 3年生1名（本年度は澄流祭公演をもって引退）、2年生5名。

練習時間 月・水・金 15:45頃～18:30頃（季節・時期などによって変わる）

火・木 16:45頃～18:30頃（季節・時期などによって変わる）

長期休業中 9:00頃～12:00頃（季節・時期などによって変わる）

活動費用 部費は徴収せず、生徒会予算・同参加登録費などを使用しています。

2 本年度のこれまでの活動および活動予定

4月29日（土） 中毛地区高校演劇祭春季大会（群馬会館ホール）

日高詩・作、本校演劇部潤色『「セイ」に始まり…』

今回の春季大会は、昨年度の古典名作路線から一転。現役の演劇関係の専門学校生（作品発表当時）によるハートフルコメディを、やはり大幅に潤色して上演しました。美術部も兼部している部員の設計による大規模な大道具の作成、名作アニメをモティーフにした劇中劇の創作など、様々な新機軸を打ち出した野心的な舞台をめざしました。



6月10日（土） 本校澄流祭演劇部公演（本校視聴覚室）

中屋敷法仁・作『いまさらキスシーン』、江島裕一郎・作『火事』、恩田麻里・作『警部と刑事の珍問答』

日高詩・作、本校演劇部潤色『「セイ」に始まり…』

久々の文化祭とあって、会場は満員でした。中毛地区春季大会上演作品の再演に加え、部長による一人芝居1本、ショートショートのコメディ2本という、現在の本校演劇部としては異例の盛りだくさんな内容。ホールでの格調高い公演とは打って変わって、部員一同やりたい放題、弾けっぱなし。お客様にも大いにお楽しみいただけたと思います。



9月30（土） 群馬県総合文化祭演劇部門中毛地区大会（群馬会館）

福田成樹・作『インザハウス』《優秀賞、県大会進出》

『インザハウス』は2018年に発表された高校演劇脚本の名作で、複雑な心理描写に満ちた内容の濃い作品です。今回は、すでに引退した3年生に音響を、2年生の女子生徒に舞台係の賛助をお願いしてこの大作に全力で挑み、優秀賞を受賞して県大会出場を決定しました。



11月3日（金）

群馬県高等学校総合文化祭演劇専門部大会県大会（人材派遣ワゴン・レッジョン境総合文化センター）

福田成樹・作『インザハウス』《優秀賞、関東大会進出》……前記「TOPICS」を参照

その後の予定

- ・1月 27日(土)もしくは28日(日) 関東高等学校演劇研究大会……前記「TOPICS」を参照
- ・4月 27日(土)・28日(日) 中毛地区高校演劇祭春季大会(群馬会館)に参加する予定。

3 過去の活動

2022年度(令和4年度)

4月 30日(土) 中毛地区高校演劇祭春季大会(群馬会館ホール)

三島由紀夫・作『班女』

『班女』は、文豪三島由紀夫の近代能楽脚本の傑作で、久々の古典的名作へのチャレンジです。男性登場人物役には本校男子生徒に賛助出演を依頼し、入部したばかりの1年生部員もスタッフとして活躍。終演後は客席から感嘆のため息が聞こえていました。



9月 17日(土) 群馬県高等学校総合文化祭演劇専門部中毛地区大会(群馬会館)

越智優・作『夏芙蓉』《優秀賞、県大会進出》

『夏芙蓉』は、高校演劇脚本中でも屈指の有名作品で、過去にも多くの団体により上演されています。今回は、主役以外のキャストおよび全スタッフが1年生という布陣で挑戦し、優秀賞を受賞。26年ぶりの県大会選出会進出を果たしました。



11月 12日(土) 群馬県高等学校総合文化祭演劇専門部大会県大会(伊勢崎市境総合文化センター)

越智優・作『夏芙蓉』《優良賞》

上記の通り、26年ぶりの県大会です。中毛地区大会以上の舞台をめざし、県教育文化事業団様主催の「次世代文化部応援事業」で生方保光先生のご指導を頂きました。結果は優良賞を頂き、審査員の先生の講評では会話のテンポの良さを高く評価されました。



12月 25日(日) 本校吹奏楽部ウインターコンサートで合同公演(昌賢学園まえばしホール小ホール)

サン=テグジュペリ原作、津田明日椰・田村陽菜・牧野勇脚本・構成

『EWO Special stage 星の王子さま』

本校吹奏楽部との合同公演は、今回で2度目となります。演劇部も部長を中心に企画段階から参加し、誰もが知る児童文学の名作を吹奏楽部の美しい演奏の合間に上演しました。部員一同、これまでで最も多くのお客様の前で上演した貴重な体験でした。



2月 12日(日) 演劇シアターまえばし座(大胡シャンテマルエホール)

あくまきち・作、本校演劇部潤色『となりの手足』

今回は、伊勢崎清明高校演劇部様と本校演劇部が出演させていただきました。本校は、校内クリスマス公演で上演したサスペンスコメディを、季節柄のバレンタインデーに合わせて大幅に潤色して上演。舞台を二分割するライトワークなど新たな工夫にチャレンジしました。



2021年度(令和3年)

5月 4日(火) 中毛地区高校演劇祭春季大会(群馬会館ホール)

前橋東高校演劇部・作『野っちゃん☆緑 cure』

10月 12日(日) 群馬県総合文化祭演劇部門中毛地区大会(群馬会館ホール)

ひよこ大福・作、本校演劇部・潤色『やがて仄かのアリストラ』《優良賞、次点校》

12月 26日(日) 本校吹奏楽部ウインターコンサートで合同公演(昌賢学園まえばしホール小ホール)

前橋東高校吹奏楽部・原案、曾根愛華・作『前橋東高校演劇部による音楽への誘い』